

第 19 回 作曲者の思いを、歌詞をとおして表現する

～ 横浜アンサンブルコンテストで金賞受賞、県大会出場 ～

昨年 10 月 26 日に磯子公会堂で行われた「横浜アンサンブルコンテスト」に、本校吹奏楽部が木管 8 重奏で出場し、見事金賞を受賞しました。また、横浜地区代表として、12 月 22 日、ハーモニーホール座間で行われた「神奈川県アンサンブルコンテスト」に出場しました。木管 8 重奏のメンバーである、2 年柴田さん[F1]、佐藤さん[F1]、磯野さん[AS]、石川さん[TS]、岡田さん[BS]、宇野さん[BC]、小山さん[C1]、尾形さん[C1]の 8 人に話を聞かせてもらいました。

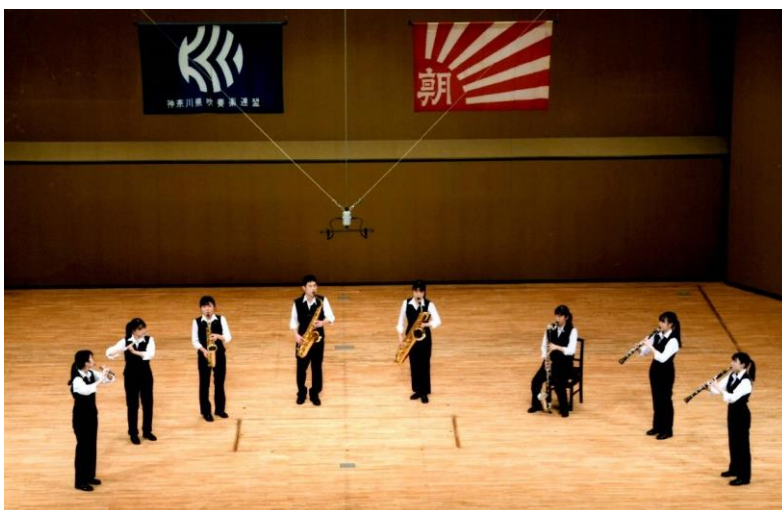
県大会前の校内発表会などで演奏を聞かせていただきましたが、素晴らしい演奏で、さすが金賞をいただくだけのことはあるなと思いましたが、アンサンブルコンテスト横浜大会での金賞、そして県大会への出場、おめでとうございます。

演奏した曲は、ラフマニノフ作曲の「パガニーニの主題による狂詩曲より」ですが、この曲を選曲した経緯などを聞かせてください。

木管 8 本の編成を前提に、いろいろな曲を聴き比べ、皆で相談して決めました。この曲は、ロマン派と言われるラフマニノフが作曲した曲です。ラフマニノフは、ロシアのピアニストであり作曲家ですが、当時の政情から、他国に亡命し、この曲はそれ以降作曲された数少ない曲のひとつです。祖国ロシアに対する思いがこもった曲であり、音量の強弱が激しいロシア的な曲だと思います。

そういった曲の背景も踏まえた上で、この曲を演奏していったのだと思いますが、どんな工夫をしたのですか。

曲のイメージを共有するために、例えば「悪魔」を思わせる部分では、それぞれが考える悪魔のイメージを出し合って、ひとつの画像にすり合わせをしました。



また、曲の中間部に、ゆっくりな部分があるのですが、皆で音と思いを合わせるために、私たちが歌詞をつけました。皆でイメージを話しあってから、歌詞にしていきました。

一部だけでも披露していただけますか？

♪ たそがれの夕日で、僕はひとり考える。
君のいない世界には、希望などありはしない。 ♪

素晴らしいですね。作曲者の心情を思い巡らせながら、歌詞を考え、これを頭の中で歌いながら演奏したのですね。コンテストの講評者からお褒めの言葉をいただいたと聞いていますが、こういう努力の成果だったのですね。素晴らしいです。

ありがとうございます。横浜大会の際に、審査員の先生から、
「音のまとまりがすごく良い。ラフマニノフ特有の抑揚が聞こえてきます。」
というコメントをいただきました。

専門の先生から、このような評価をいただけるのは本当にうれしいですね。金賞をいただいたときは、どんな気持ちでしたか。

- ・全国レベルの学校も含めて、参加40団体のうち6校しか県大会には出場できないのですが、光陵高校の名前を呼ばれたときは、「やった～」と皆で喜びました。
- ・最初は信じられませんでした。が、じわじわとうれしさを実感していきました。

ハーモニーホール座間での県大会の舞台にたったときはどんな気持ちでしたか。

- ・特段緊張したことはなかったのですが、多くの人に演奏を聞いてもらうことができ良かったです。終わってみたら、あっという間でした。
- ・私は、大きい大会に出るのが初めてだったので緊張しましたが、地区大会よりは楽しく演奏することができましたし、とてもいい経験になりました。

吹奏楽部としての、今後の活動を教えてください。

今は、3月30日（月）関内ホールにて行われる、定期演奏会に向けた準備をしています。今回の定期演奏会は、「世界旅行」をテーマにしています。例えば、スペインやアフリカなど、どの地域の雰囲気かがわかるように曲を構成していますので、皆さんに楽しんでいただけたらと思います。17時開場、17時30分開演ですので、是非お越しください。

4月以降は、これまでの成果を次の世代に引き継いでもらって、次のコンクールを目指すことになると思います。

その他の活動についても教えてください。

地域の行事やイベントに参加させていただいたり、保土ヶ谷養護学校のクリスマスコンサートなども毎年恒例になっています。参加された方々がとても喜んで楽しそうに聴いて

くださるので、私たちも励みになっています。

ところで、普段、吹奏楽部の活動と学業と両立させるのは、大変だと思いますが、普段どんな工夫をしているのですか。

- ・ 中途半端にはしたくないので、部活動の時間は部活動に集中し、勉強の面ではやるべきことをしっかりメモしてこなしています。
- ・ 勉強時間を確保するのは大変ですが、すきま時間を意識して、けじめをつけるようにしています。
- ・ すきま時間も含めて、自分の使える時間で勉強するよう心がけています。
- ・ 目の前にある課題をひとつずつこなしていくようにしています。
- ・ スケジュールを組んで、切り替えを意識するようにはしています。部活動以外のことも継続的に取り組むようにはしています。
- ・ 時間の確保が難しいので、優先順位をつけるようにはしています。
- ・ 予め勉強する曜日や時間を決めて、めりはりをつけるようにはしています。
- ・ 体がもたないとがんばれないので、休める時は体を休めようと思っています。

尾形さんは、学生指揮者として、どんなことを意識して取り組んできましたか。

原曲などを聴いて、どのように演奏したら良いものになるかを考え、それを皆に伝えることを意識して合奏などで、音楽的な指導をすることにはしています。

音楽的なことをリードしていく大変な役割だと思います。部長の柴田さんはいかがですか。

今回は8人でのアンサンブルでしたが、部員皆が応援してくれたおかげで県大会に出場できたのだと思っています。部員一人ひとりとのコミュニケーションを大切にして、より円滑に部の運営をしていけたらと思っています。

部長の柴田さんはもちろんですが、部員のメンバーがそれぞれの立場でリーダーシップを発揮しているのが、吹奏楽部としても素晴らしい成果をあげることができているのだと思います。4月には、また多くの新入生を迎えることができるといいですね。これからも引き続き、様々な活動に取り組んで、多くの人に美しく、楽しい音楽を届けてほしいと願っています。本日は、どうもありがとうございました。